
(7 番 元坂正人議員)

○議長（大西慶治君） 次に、通告順 3 番、元坂正人議員の一般質問を行いますので、元坂正人議員は質問席へ移動してください。

それでは、通告順 3 番、元坂正人議員の発言を許可します。

元坂議員。

○7 番（元坂正人君） 本日、最後の一般質問をさせていただきます。議席数 7 番元坂でございます。

学校給食につきまして、特に未実施の協和及び大台中学について、教育長の給食についてのお考えをお聞きいたします。

2 項目のこの質問については、堀江議員さんが平成 21 年 9 月及び 12 月定例会でも質問されていますが、それ以後、教育委員会はこの問題に対して、どのような取り組みをされてきたのか、お聞きします。

3 点目です。学校給食の実施率について、三重県は全国的に見て非常に低いと聞いておりますが、実施率は何%で、県は実施率の向上のため、町に対してどういう指導や取り組みをされているのか、お聞きしたい。

4 項目ですけれども、中学校の学校給食の完全実施は、統合問題や自校方式やセンター方式などの建設経費の比較や食育の問題など、いろいろな要素がありなかなか難しいとは思いますが、町長としてどのぐらいの時期に実施していきたいと考えておられるのか、お聞きしたいと思えます。

○議長（大西慶治君） 教育長。

○教育長（村田文廣君） 元坂議員の第 1 点目の協和及び大台中学校における未実施の給食についてでございますが、学校給食は成長期にある児童生徒の心身の健全な発達のため、栄養バランスのとれた豊かな食事を提供することにより、健康の増進、体位の向上を図ることはもちろんのこと、食に関する指導を効果的に進めるための重要な教材として、給食の時間はもちろんのことござ

いますけれども、各教科や総合的な学習の時間、特別活動等において活用することのできるものでございます。

特に給食の時間では準備から後片付けの実践活動を通して、計画的に継続的な指導を行うことにより、児童生徒に望ましい食習慣と食に関する実践力を身につけさせることができるものでございます。

また学校給食法によりまして、教育活動として実施されてきたところでもございますが、そこで議員のお尋ねの協和中及び大台中の給食の未実施についてのごとでございますが、このことは以前から財政面や統合問題など、いろいろな課題の中で検討を行ってまいりましたが実現に至っておりません。しかしながら、学校給食につきましては、教育上必要なものであると考えておりますので、実現に向け努力していきたいと思っております。

第2点目の堀江議員さんが質問された、平成21年9月及び12月定例会以後の取り組みについてでございますが、給食未実施の協和中学校、大台中学校の給食実施につきましては、平成21年9月及び12月定例会で申し上げておりますように、建設用地及び設備投資の面から、両校に自校方式の給食施設を整備することは困難であり、協和中学校の統合が実現しないと、大台中学校だけに建設することはできないと答弁いたしておりますが、その後の取り組みといたしまして、協和中学校の統合問題のことで、日進地域の区長さん方や小中学校の保護者、PTA役員の方々との間で、何度か実施してまいりました意見交換会の給食問題について、意見を伺ってまいりました。また去年は学校現場における給食に対する意見も、両校の関係者から聞かせていただきまして、給食施設の整備の検討をしてまいったところでございます。

第3点目の学校給食の実施について、県の実施率や実施率の向上のための町に対する県の指導や取り組みについてでございますが、中学校の完全給食の実施率につきましては、文部科学省が例年実施しております学校給食実態調査の平成21年度分によりますと、全国的に高いところでは千葉県、富山県、愛知県が100%で、低いところでは大阪府の7.7%でございまして、全国平均

は81.6%でございます。

その中で三重県は53.6%と、全国で43番目となっております。ただ現在では旧松阪市の区域が完全給食を実施いたしまして、来年9月には津市の旧津市、旧久居市の区域でも完全給食を実施するようですので、実施率はもう少し高くなってくると思っております。また県から町への実施率の向上のための指導等につきましては、特に指導であるとか、取り組みに対する指示はございません。しかし食育及びアレルギー対策についての指導は、ふだんからいただいております。町といたしましても、栄養教諭や学校栄養補助員、食育担当教諭とともに、児童生徒に対する授業実践、給食指導を行うとともに、家庭との連携を図っております。

第4点目の給食の実施につきましては、教育委員会といたしましては、先ほど小林議員にお答えをいたしました。できれば早い時期に実施に向けた努力をしていきたいと考えております。また完全給食の時期につきましては、町長のほうからお答えをいたしますので、よろしく願いいたします。以上、私のほうから答弁とさせていただきますので、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

○議長（大西慶治君） 町長。

○町長（尾上武義君） それでは学校給食の完全実施の時期でございますが、私のほうからお答えをいたします。学校給食につきましては、方法といたしまして、各学校別に給食を学校で調理する、いわゆる自校方式、幾つかの学校の給食を1カ所で調理し配送するセンター方式、給食を実施している学校で、他の学校の分をつくって配送する親子給食の3方式が主な方法と考えております。

協和中学校、大台中学校で給食を実施するにあたりましては、衛生面や施設整備にかかる学校敷地等の問題、または財政面などを総合的に考慮し、最良の方法で実施していきたいと考えておりました。時期といたしましては、できる限り早い時期に完全給食を実施したいと考えております。これからの取り組みとしましては、統合問題もございますが、平成23年度中に教育委員による先

進地視察などを行いまして、保護者の意向や学校現場の意見も確認しながら、実施に向けての方向性を確立し、現段階といたしましては、平成24年度及び平成25年度にかけて施設整備を実施しまして、平成26年度から完全給食を始めたいと考えておりますので、ご理解賜りますようお願いを申し上げ、答弁といたします。

○議長（大西慶治君） 元坂議員。

○7番（元坂正人君） まず教育長、学校給食につきまして、特に2校ですね、協和中学校とそれでこの大台中学ですけども、大台中学校では115名、協和中学校では58名の生徒さんがみえるわけでございますけれども、この中に今までずっとお聞きしておった中において、統合問題がなかなか進まんとか、そういう問題では私はないとこう伺っております。

答弁の中で実施に向けてというお言葉も、こうして真剣に区長さん方とも、お話し合いをしたというふうに今も承っておりますので、ぜひこの点についてよろしくお願ひしたいと。三重県下におきましても、特に53%、全国的に見ても43番手というのは、本当に低いというふうに考えておりますし、その中で千葉県、今の答弁の中で富山県、それから愛知県と、その他では99.9%、90%とかいうような高い率で、ずっと全国的に見てもやはり県下では本当に低いなというふうに感じております。

この中で、以前は中学校になれば、お母さん方が小学校では給食があったけれども、中学校へいったら自弁で給食もつくりたいと、また自分の息子には自前で弁当も持っていかにしてやりたいという声は、以前からたくさん聞いておりましたけれども、今の時代において顔見るごとに議員さんぜひ早く早期にこの実現をしてくれというふうなふうに変わってきておるということも事実でございます。いろいろアトピーとかいろいろかの問題もあるというようなことも伺ってはおりますけれども、それはそれとしていろいろかのやり方の方法でやっていただきたいと、そのように思っております。今の4点目ですけども、自校式、センター方式、いろいろな親子方式とかいうことで、いろいろか町長のほ

うからもお伺いさせていただきました。その中で、特に早期にこれまでの町長答弁の中で、平成19年とか平成20年ぐらいの時に、町長が早期に向かってやはり実施していくのが望ましいなということで、平成23年から取り組んでということで、今年は平成23年ですね、そのようにして平成24年、平成25年、実施として平成25年から完全にということも、今お聞きしたわけですが、それに向かって一つ一生懸命で取り組んで、3億かかるか4億かかるかと、いろいろかの問題もあるかと思えますけれども、どこでどうしてやっていくかということ、具体的にちょっとお聞きならなかった、どこでどうして給食をつくっていくのか。大台中学のほうでやっていくのか、またそれともセンター方式やったら、どこでやっていくのかとか、いろいろとそういう点も、具体的な方法があればお聞かせください。

○議長（大西慶治君） 教育長。

○教育長（村田文廣君） すいません。

元坂議員のご質問にお答えさせていただきます。先ほど町長が完全実施に向けてということ、現段階でございますけれども、平成23年度に教育委員さんも含めて視察を行って、そして学校なり保護者なり、そのあたりの意見も聞かせていただいた中で、どういう方法が今議員がおっしゃられました単独方式、自校方式、それからセンター方式、親子方式と、いろいろな方式がございます。そのあたりも検討いたしまして、平成23年度中に方向性をつけさせていただいて、平成24年、平成25年、今の段階では2年をかけて設計から施工へという段階で、平成26年完全実施をしていきたいという方向でございますので、まだその今言われました、どんな方式になるかというのは、今後の考えの中でまた決めていきたいと存じますので、現時点ではまだこの方式というのは決まっておられません。ただ議会のほうで自校方式が望ましいという意見は聞かさせていただいておりますけれども、それらを参考にしながら、また今後そういう意見をとりまとめていきたいと考えております。以上でございます。

○議長（大西慶治君） 元坂議員。

○7番（元坂正人君） 町長にもお聞きしたいと思います。

○議長（大西慶治君） 町長。

○町長（尾上武義君） どうも恐れ入ります。

平成23年度というようなことで、多分あれ平成19年度あたりに堀江洋子さんの質問にお答えして、平成23年度あたりからというようなことで、お答えをさせていただいた記憶がございます。それには前提がございまして、統合ができれば平成23年度からビシッといきますというふうなことで、答弁をさせていただいたところがございます。それでできていない、こういうようなことで、じゃあなんで統合できておらんのにここでやる方向になつたものということになるんですが、これは町内七つの小中学校がある中で、五つの小中学校が実施をしておると。残る二つができてないと、こういうようなことです。

これについては、いつまでも統合というようなことを、拳拳服鷹のように言いながらやっている中で、子どもさんとかその地域に対して、これはちょっと教育上おかしな話やないかなということに、考えをシフトしてきたというのか、そういうようなことになってきました。そういう意味でより真剣にこれを考えていかないかなということ、先ほど申し上げさせていただいたように、できれば現段階ではございますけれども、平成26年度からの給食実施というようなことで運んでいきたいなど、こういう思っておりますので、その点についてはご理解賜りますようお願い申し上げたいと思います。

○7番（元坂正人君） 終わります。

○議長（大西慶治君） 元坂正人議員の一般質問が終了しました。

以上で本日の一般質問を終了します。

お諮りします。

議事の都合、議案調査のため3月8日を休会としたいと思います。

ご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ声あり）

○議長（大西慶治君） 異議なしと認めます。

したがって、3月8日を休会とすることに決定しました。

散会の宣言

○議長（大西慶治君） 以上で、本日の日程は全部終了しました。

本日はこれで散会します。

次回は3月9日（水曜日）午前9時より再開いたします。皆様ご苦労さんでした。

（午後3時43分）

—